

2 年次後期・必修

1 単位・15 時間

【概要・目標】

救急医学は、症状の緊急性であるプライマリーケアと症状の重篤性であるクリティカルケアからなる急性の病態学、症候学である。救急医学の中には、救急医療システム、蘇生学、外傷学、ショック、多臓器不全、中毒学、熱傷学、集団災害医学などがある。

目標は救急の講義で救急医療における看護の役割を実践できる知識を学び、災害医療では災害訓練に参加し、トリアージおよび災害での看護の役割を学ぶ。

【授業内容・スケジュール】

- 1) 救急医学総論
- 2) 災害医療
- 3) 心肺蘇生術（BLS と ACLS）
- 4) 外傷の初療と看護
- 5) ショック
- 6) 熱傷と中毒
- 7) 集中治療と看護

【評価】

筆記試験

【教科書】

プリント配布

系統看護学講座 別巻 第6版、救急看護学、医学書院、2018

【推薦参考図書】

1. 「外傷初期看護ガイドライン JNTEC 改訂第4版」日本救急看護学会監修、へるす出版 2018
(ISBN978-4-89269-958-0)
2. 「クリティカルケア看護入門 改訂第2版 “声にならない訴え”を理解する」卯野木 健 著、学研メディカル秀潤社 2015 (ISBN978-4-7809-1122-0)
3. 「JRC 蘇生ガイドライン 2015 日本蘇生協議会・日本救急医療財団監修、へるす出版 2016

【その他】